

保護者負担の公費化項目を調査して（市内で統一する公費化教材について）

令和3（2020）年12月10日 研究G

この調査も今年で3年目をむかえました。少しずつではありますが、着実にすすんでいる実態が見られます。昨年度と比較して、特に小学校において全校で公費化できている物品が増加しています。中学校においても全校で公費化されている項目は少ないものの、備考欄を見ると一部公費化されているものもあることから、公費化を意識したものとなっていることがわかります。

小学校と中学校でまとめました。

<小学校>全10校

- ・今年度から市内全校で公費化できた品目がある。フラットファイル、半紙。ほぼ全校でとりくめている品目（ミシン系、糸のこ刃）もある。
- ・大規模校においても奨励プログラム等を活用して、予算を生み出している。
- ・中規模校でもかんさつバック、電卓、計算カード等学校分を用意して、公費化している学校もある。

<中学校>全7校

- ・氏名ゴム印と半紙については全校で公費化できている。
- ・6校で生徒手帳代の工夫として、身分証明書の発行等を行っている。
- ・はさみやカッター等家から持参させて、貸出用を用意しておくことで負担軽減を行っている学校がある。
- ・用紙代、フラットファイルは5校で公費化されている。
- ・技術、家庭において、やすり、ボンド、ゴミ袋、洗剤等一部公費化している学校がある。

大規模校は大きな予算を伴うことから難しい中ではありますが、現在の調査結果から次年度公費化教材は以下のとおり目指すことを提案しますので、ご検討下さい。

<小中共通>

半紙、フラットファイル、用紙代

<さらに取り組める学校は>

白画用紙、ミシン系、糸のこ刃、

各校事情があると思いますので、まずは取り組めるかどうかを検討して下さい。

予算に余裕がある学校は表を参考にいただき、更なる公費化に取り組imiをお願いします。